

◆トピック (文責:西日本支部主任 中川)※受入れ開始時期順

【(株)ヤヨイサンフーズ九州工場様】

・騒音クレームが発生した為、特定技能と同行して近隣住民へ謝罪訪問を行った。本人から迷惑をかけたので自分で謝罪に行きたいと発言があり、あいにく近隣住民は不在だったので会う事が出来なかった。改めて弊組合より指導を行った。遠方にある宿舍もこちらの宿舍に統合する計画もあるので、クレームが続かないように取り組んでいく。

【下関工場様】

・乾燥課に長野課長が赴任されたのでご挨拶をさせて頂いた。これまでも人が足りない場合がありその際は派遣会社に依頼していた。下関工場様では、特定技能外国人も受入している為、煉製品課の特定技能が乾燥課へ応援に行くことが可能。乾燥課で人手不足の時は声をかけて頂くよう依頼した(煉製品課の大貫課長も了承している)。また、人手不足、高齢化に対応する為、技能実習生・特定技能の案内をさせていただく事となった。

・現在、技能実習・特定技能の日本語能力の要件が国会で審議されている。弊組合としても外国人材の日本語能力向上の為、全工場向けに日本語の授業をオンラインで開催している。

【(株)マルハニチロ九州様】

・33期生 10名の初級試験が行われた。日本語レベルも低い為、不合格も懸念されたが、何とか全員が合格となった。

・同工場内の実習生が別れ話のもつれから暴力行為に発展した。ヒアリングを行ったところ、お互いが相手に手を出したことがわかりお互いに謝罪した。彼女から、「今日ではっきり関係を終わらせたい。」と発言があり、最終的には彼氏も理解して別れることとなった。その場で連絡先を削除させたが、翌日彼氏からメッセージが送られてきた。連絡先を削除していても、ブロックしていなければメッセージを送る事が可能なので、すぐにブロックさせた。翌日以降は彼氏から連絡が来っていない。当組合としても、駐在員から2名へ連絡がないか確認・管理を継続中。また工場としても彼女を第2工場へ移動させて、2人が接触しないようにしている。

監理・支援活動風景



実習生面談(MN九州)



日本語授業(MN下関)



特定技能指導(YSF九州)